

2025年3月23日

(朝10:30-11:30)

## 聖日礼拝

司会 城尾マコト

前奏	全員黙祷	「新聖歌23番」	ヒムプレヤー
招詞	第一コリント5章6~8節(新261頁)	司会者	
頌栄	「新聖歌60番」	ヒムプレヤー	
主の祈り	(プログラムに印刷)	全員	
使徒信条	(プログラムに印刷)	全員	
交誦文	新改訳6番詩篇22篇883頁	司会者・全員	
聖書	出エジプト12章12~13節	司会者	
讃美歌	新聖歌89神は独り子を	ヒムプレヤー	
祈祷	司会者による祈り		
	子供達の祝福の為の賛美484番	ヒムプレヤー	
讃美歌	新聖歌102主は命を	ヒムプレヤー	
メッセージ	「救いに至る現代の過越し」	城尾淳一	
讃美歌	新聖歌206飼い主わが主よ	ヒムプレヤー	
	証とお知らせの時間		
献金	新聖歌55番		
頌栄	新聖歌63番		
祝祷		城尾マコト牧師	
後奏	全員黙祷 新聖歌59番		



Youtube



Facebook



HomePage

## 今週のお話の要約

### 出エジプト記10-12章「救いに至る現代の過越し」

この箇所は、イスラエルの民がエジプトでの奴隸状態から解放される重大な出来事を描いています。頑なにイスラエルの解放を拒んでいたパロは、最後の災い—エジプト全土の長子の死—を前にして最終的に降伏します。

この災いからイスラエルの民を守るため、神は「過越し」の規定を定められました。各家庭は傷のない子羊を屠り、その血を門柱と鴨居に塗ることで、神の裁きが彼らを「過ぎ越す」ようにしました。また、種入れぬパンを食べ、この出来事を記念として永久に守るよう命じられました。

過越しは単なる歴史的出来事ではなく、神の救いの計画の予型でした。新約聖書では、イエス・キリストが「過越しの子羊」として私たちの罪のために犠牲となられました。その十字架での死は、過越しの祭りの時期と一致します。子羊の血が長子の死からイスラエルを救ったように、キリストの血は神の裁きから私たちを救います。

現代に生きる私たちも様々な束縛に囚われています。人間関係、経済的問題、忙しさ、罪や誘惑など、私たちを苦しめるものは少なくありません。しかし、イエスを信じ、その血による救いを受け入れることで、私たちは神の裁きから「過ぎ越され」、真の自由へと導かれるのです。

心の中の「古いパン種」を取り除き、キリストにある新しい生き方を選ぶなら、私たちにも「過越しあめでとう」と言えるでしょう。

城尾 淳一